

演習シート1

(効果と危機予測)

実施するサービス内容	予測される効果	起こりうるリスク
記入例) ①浴槽への移動は手すりを使い、後方から体を支持して、介助を受けて出入りをする。	記入例) ①-ア 下肢筋力の向上 ①-イ 介助が見守りレベルまで改善する	記入例) ①-ア 浴槽に入る際に、足が上がらず上手く跨げないで、足が浴槽にひっかかり転倒のおそれもある。 ①-イ 握力が弱いため手すりを上手く握れず、ふらつきがあり、本人が不安になり意欲を失う。

演習シート2

(支援の経過)

短期目標	半分の期間で到達すると予測する状況	発生したリスク	リスクへの対応の内容
記入例) ベッド上で起き上がり30分程度過ごすことができる	記入例) ①ベッドをギャッジアップしても10分くらいで疲れていたが、最近は疲れた様子も少なくなってきた		
手すりを持ち、浴槽の跨ぎが一人でできる		記入例) ①握力が弱いため手すりを上手く握れず、ふらつきがあり、本人が不安になり意欲を失う。	記入例) ①入浴介助を見直すため、支援にあたっている訪問介護のサービス提供責任者に状況を確認。計画変更すべきか介助方法の変更で可能なレベルかを協議する。②通所リハビリテーションの理学療法士に相談し、手すりを握る力が向上できるのか、またふらつきの軽減の対策を協議する。

演習シート3 (①役決め ②実施 ③実施後の感想)

(実施と記録)

モニタリングの状況・内容	実施後の感想
--------------	--------

演習シート4

モニタリングの記録

●利用者の意向・満足度

●家族の意向・満足度

●目標の達成度

●事業者との調整内容

●居宅サービス計画の変更の必要性

●その他

演習シート 5

(まとめ)

モニタリングに対する心構えや考え方

事前に準備すること

モニタリングの実施時の姿勢や進め方